

翻 訳

# 『ヘルシンキ宣言』 ダイヤモンド・アニバーサリー記念書籍\*

栗原千絵子

神奈川大学特任教授, 「臨床評価」編集長

## A Commemorative book of the Diamond Anniversary of the Declaration of Helsinki

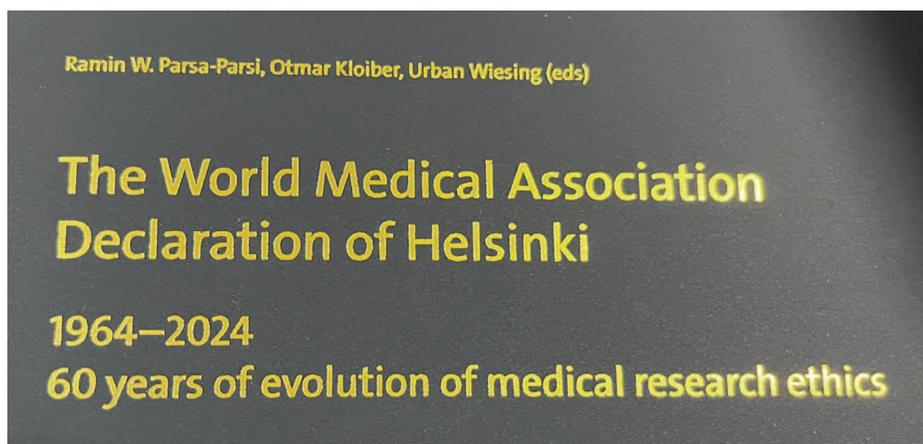
Chieko Kurihara

Specially-appointed Professor, Kanagawa Dental University;  
Editor-in-Chief, *Clinical Evaluation*

訳 栗原千絵子

Translated by Chieko Kurihara

『ヘルシンキ宣言』60周年のダイヤモンド・アニバーサリーを記念する書籍が, 世界医師会 (WMA) によって2025年9月に刊行され<sup>1)</sup>, WMAのウェブサイトから入手できる (<https://www.wma.net/publications/wma-doh-1964-2024/>). 地域によって異なるが, 電子書籍は8.68ユーロ, ハードカバーは40~65ユーロと, 驚くほどの安価である.



\* 本稿は, 以下の原本から許可を得て翻訳している.

Kurihara C. A Commemorative book of the Diamond Anniversary of the Declaration of Helsinki. *IFAPP TODAY*. 2026; No. 60: 12-3.

[https://ifapp.org/wp-content/uploads/2026/01/IFAPP\\_TODAY\\_60\\_January\\_2026.pdf](https://ifapp.org/wp-content/uploads/2026/01/IFAPP_TODAY_60_January_2026.pdf)

『ヘルシンキ宣言』の初版及び第10回目の改訂版<sup>2)</sup>は、フィンランドのヘルシンキで開催されたWMA総会で採択された。このため、フィンランド元大統領Sauli Niinisto氏による序文が寄せられている。1979年にProf. Tom L. Beauchampとの共著で自律、無危害、善行、正義の四原則を確立したProf. James F. Childressが『ヘルシンキ宣言』2024年版を論評する特別寄稿も掲載されている。また、2025年に逝去されたProf. Beauchampを悼む訃報もProf. Childressが執筆している。Prof. Urban WiesingとProf. Hans-Jorg Ehniは、広範にわたる『ヘルシンキ宣言』の歴史的分析和将来展望を記述している。著名な著者の論文を含むこの本に私の研究倫理の個人史を綴る原稿を寄せるという依頼をWMAからいただいたことは、この上もない光栄である<sup>3)</sup>。他に、各国医師会、UNESCO ([www.unesco.org/](http://www.unesco.org/))、CIOMS (<https://cioms.ch>)、WHO (<https://www.who.int>)などの国際機関、規制当局、学術団体などが短い論説を寄せている。

私はWMAと正式な協力覚書を結んでいるIFAPPのメンバーとして、また独立のバイオエシスト及びジャーナリストとして、グローバルな議論を喚起し、様々な関係者、医療専門家、バイオエシスト、患者や一般市民、特にこれまで十分に届けられてこなかったグローバルサウスやアジアの声をWMAに伝える役割を担った。一部の意見は最終的に『ヘルシンキ宣言』2024年版に反映されたが、反映されなかったものもある。このような議論を通じて、最高水準の研究倫理を追求することにより、研究と研究審査の現場での実践が改善することを期待する。

10項からなる私の論文のうちの1項は、IFAPPメンバーが改訂プロセスに貢献し、学術論文を発表し、WMAの地域会議に参加し、ウェブや対面の会議を開催した経緯を示している。さらに、私が主たる編者として執筆した書籍も、IFAPPメンバーや他の専門家、患者グループによる『ヘルシンキ宣言』2024年版に関する論評を集めたもので、WMAの本とほぼ同時期にSpringer社から出版された<sup>4)</sup>。私たちの本を紹介するパンフレットは、2024年10月にポルトガルのポルトで開催されたWMA総会でWMAの本と同じテーブルで配布された。



写真のスクリーンに映っているのは、2023年から2024年までWMA会長を務めたDr. Lujain Alquodmaniであり、私は2024年8月にWashington DCで開催された最後の地域会議の最終セッションを彼女と共有した。Dr. Alquodmaniは2025年10月20日に東京で開催されたDrug Information Association (DIA) セッションにオンライン参加し、私たちはスクリーンを通じて「構造的不平等」と「脆弱性」について意見交換したが、ちょうどその日にこの写真が届けられた。これらのテーマは、『ヘルシンキ宣言』が示す研究倫理の理論に大きな変革をもたらした。最高の研究倫理基準を目指し続ける世界中の友人たちに、深く感謝している。

#### 参考文献・注

- 1) Parsa-Parsi RW, Kloiber O, Wiesing U, editors. *The World Medical Association Declaration of Helsinki: 1964-2024 60 years of evolution of medical research ethics*. World Medical Association; 2025.
- 2) The World Medical Association (WMA) Declaration of Helsinki – Ethical Principles for Medical Research Involving Human Participants. First adopted in 1964, last amended in 2024.

[訳注：下記文献は和訳版のみ]

- 3) Kurihara C. The evolving role of the Declaration of Helsinki in bioethics and human rights. 文献1に収載.
- 4) Kurihara C, Greco D, Dhali A, editors. *The 2024 Declaration of Helsinki: Global Efforts Towards the Highest Ethical Standards*. Singapore: Springer; 17 September 2025.